

昉輪大祭後…

…お疲れ様  
ハスミ

お疲れ様です…

今日はありがとうございました…

ぢゅ…

とりあえず  
シャワー…

浴びてきますね…







んむ♡  
ひぶんでっ♡  
あらえまひゆから♡

にゅちゅ♡

れろ♡

ひゃっ♡  
くらは♡

ん♡  
ふ♡

もにゅ♡



びゅ♡

っ♡

くり♡

んっ♡

くり♡

れお♡  
んむ♡

ぬちゅ♡

びゅ♡

れろ♡

っ♡





昼間からずーっと  
生殺しだったせいで  
もう限界だ…

こんなに大きくなって…  
先生もすごく興奮してる…

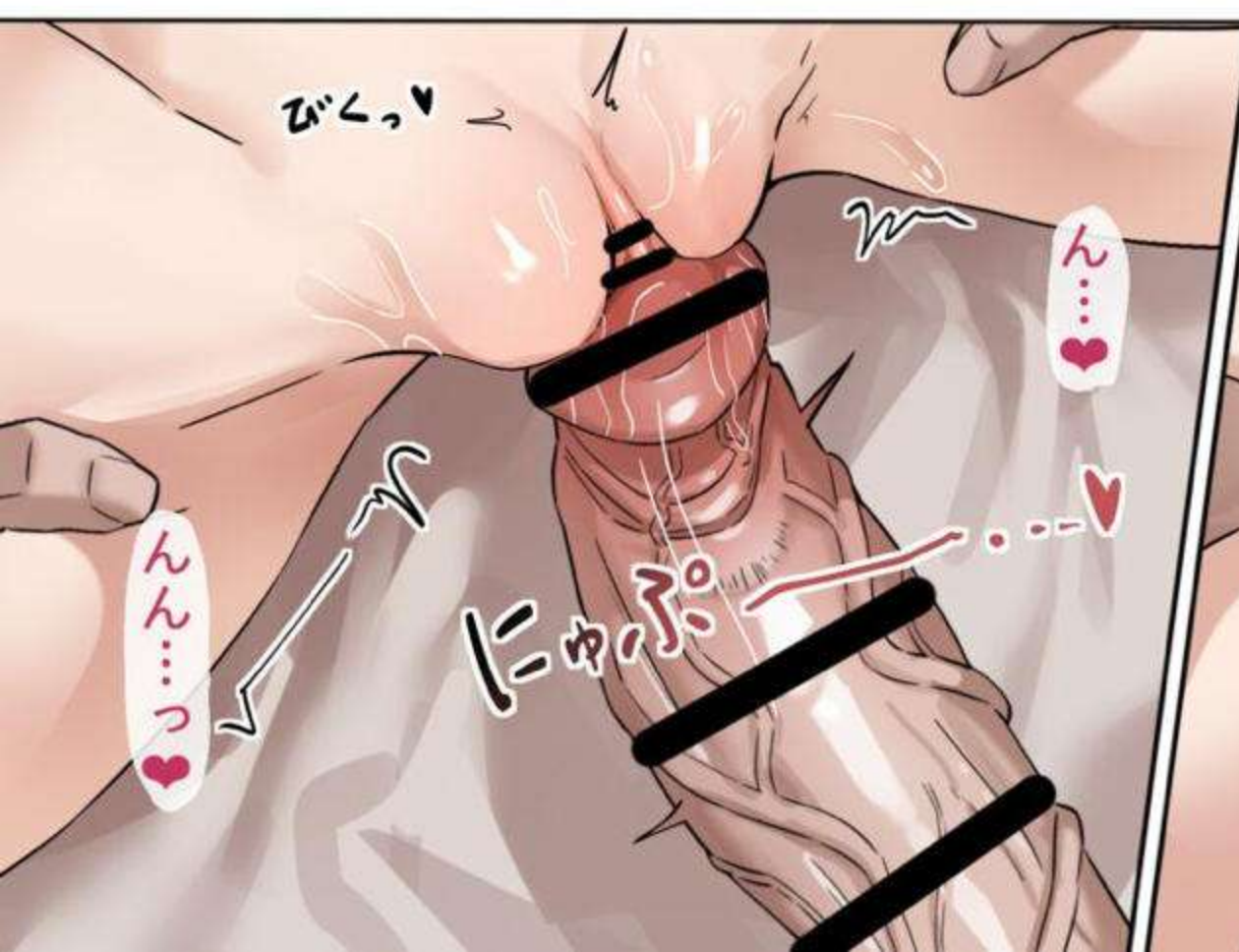
は…♡

はあ…

は…♡

ビク♡ ビク♡

ふう…



びく♡

ん…♡

ん…♡

にゅぷ♡



にゅぷ♡

ん…♡

くちゅ♡

ひゃっ♡





んっ♡先生っ♡

きもち…いいですか…♡

…もう膣内ぬるぬるでっ

あっ♡

ぬっ♡ふ♡

ぬっ♡ふ♡

はあっ気持ちいいっ  
この光景だけでもうイキそう…っ

お昼も私のっ♡

ん♡

胸ばっか…見えていませんでしたか…っ♡



そりや…

///♡

ぴん♡

こんなに目立つものが

揺れてたらね…？









ぱちゅっ♡

あぁ♡

はぁぁ♡

せんせい♡

ぱちゅっ♡

あつく...う...

射精るっ...射精るう...っ

びゅっ♡  
びゅっ♡  
びゅっ♡

びゅっ♡  
びゅっ♡  
びゅっ♡

あ♡

あ♡

ぱちゅっ♡







保険の特別授業という名目で放課後に会うようになってから数週間、二人はもはや本来の目的を取り繕おうともしていなかった

せ、先生…  
今日は本当に危ない日  
ですので膣内は…

わ、わかってるっ  
外に出すからっ

言葉ではそーいいながら理性の  
かけらもなく腰を打ち付ける

んっ♡  
あっ♡  
ほんとにダメですっ  
せんせ…っ♡

充滿するメスの匂い、抱き心地の良い体に、誘い受けるようなしおらしい嬌声、  
全てが相乗効果になって、あっけなく絶頂に達する

パン♡

パン♡

パン♡

パン♡

あっ♡

んっ♡

んっ♡







間一髪のところではちんぽを引き抜き、  
遠慮もなく彼女の体に射精する

うっ…ああ…っ

熱く粘り気のある  
精液が体にかかる度、  
彼女はびくっと体を震わせる

ちんぽは全く萎えることなく  
興奮状態が続いている

方、

ん…

ピュ♡

ピク

ピク♡

ふっ♡

どろっ♡

ハスミ…  
やっぱり膣中に出していいか…？

え？

ちんぽにへばりついた精液をぬぐうこともせず  
再度ハスミの女性器にチンポをあてがう



残った精液を擦り付け、挿入するように  
膣内を掻き分け、挿入していく

あ♡だ…めですっ♡  
それじゃいみがなっ…んっ♡

さすがにとめようと態勢を  
変えようとするが、  
腕と足をがちりと固定されているため、  
抵抗する術もなく、  
ただチンポを受け入れるしかない

ごめん…  
次我慢できそうにないんだ  
お薬買ってあげるから…!

言葉とは裏腹に、ちんぽを甘く刺激してくるせいで、  
どんどん理性が消えていき、腰の動きが勝手に激しくなる

ちっ♡  
んっ♡

ビク♡

ぬるー♡

ビク♡



子宮口のあたりを集中して何度も突いていくと、次第に肉の震えが大きくなり、際限なく絶頂を繰り返しているようだった

あっ♡  
ほんとに…つまって♡  
ごめんなさいっためです…  
…これっホントに…っ

ハスミが必死に抵抗するたびに、さらに強い力で抑え込み、腰を打ち付ける

せんせいまってください♡  
イって…イってますのでっ♡

下品に胸を揺らしながら、だらしなく喘ぐハスミに、また射精感が襲ってくるが構わず、ひたすら腰を振り続ける

ああ…!!  
いくイクイクっ







ドクッ♡

ドクッ♡

わっ♡

アッ♡  
アッ♡

んっ♡

あへっ♡

うっ♡  
あっまだ射精るっ♡

ドクッ♡

んっ♡

んっ♡

あ

あ

んっ♡

あへっ♡